

## 一般財団法人国際法学会平成 25 年度事業報告及び決算と平成 26 年度事業計画のご報告

平成 25 年度事業報告と決算については監事監査を受けたのち、2014 年 6 月 29 日開催の定時評議員会で承認を得ましたので、一般財団法人国際法学会定款第 10 条（事業報告と決算の評議員会による承認と貸借対照表及び損益計算書の公告）に基づき、この結果 HP においてお知らせ申し上げます（決算、事業報告は毎年度掲載している欄に掲げております）。

平成 25 年度事業報告の主要なものは以下のとおりです。

### 定款第 4 条 1 号関係

#### 5 頁：HP 上でエキスパートコメントの開始

「企業による世界各地での国際法違反についてアメリカで訴えられる可能性」

「竹島紛争と国際司法裁判所」

### 第 2 号関係 国際交流

#### 5 頁：大韓国際法学会の要請による済州島フォーラムへの派遣

中華民国国際法学会の招請による国際シンポジウムへの代表派遣

#### 7 頁：2013 年 12 月 15 日東京大学（本郷）山上会館において、第 1 回目の市民講座を宇宙活動と宇宙法を題材に実施した（68 名の参加）

### 第 3 号関係

7-8 頁 国際法外交雑誌 112 巻 1-4 号を刊行。総頁数 820 頁で、論説 9 本、研究ノート 5 本、書評論文 1 本、資料 5 本、紹介 15 本、会報 11 本、主要文献目録、および、総目次という構成

### 第 4 号関係

9-10 頁 国際法学会 2013 年度（第 116 年次）研究大会は、年 1 回の 3 日間開催に移行した最初の大会として、2013 年 10 月 12 日（土）、13 日（日）、14 日（月・祝日）に静岡県コンベンションアーツセンター・グランシップにおいて開催され、338 名（傍聴者を含む。）の参加者を得た。大会終了後、グランシップ内の 1001-1 会議室および展望ロビーにおいて懇親会が開催され、121 名の会員が出席した。

### 第 5 号関係

10 頁-11 頁 小田滋賞：表彰式に関する HP の記事を見てください。

若手研究者育成事業： 2013 年 8 月 27 日（火）・28 日（水）開催の外務省と共催した「国際法模擬裁判・アジアカップ 2013」にはアジア 8 カ国から 20 大学が書面を提出し、審査を通過した 8 カ国 9 大学の学生が東京大会に参加して口頭弁論を行った結果、フィリピンのアテネオ大学が総合優勝し、シンガポールのシンガポール管理大学が準優勝した、書面審査では日本の京都大学が最優秀賞を受賞した。

2013 年 12 月 21 日（土）・22 日（日）に同志社大学で開催された「ジェサップ国際法模擬裁判 2014」日本予選大会にも、裁判官等での協力を行った。

管理・運営関連では多湖・岩田・田村法律事務所とは法律事項の助言に関する契約を締結

し、またいずみ会計事務所と会計関連業務に関する契約書を締結した。平成 25 年度公益目的支出計画実施報告は、上記弁護士事務所および会計事務所の助言、作成業務を得て平成 25 年 6 月 30 日に提出した。

会計決算は決算報告書を参照。コンベンション方式による研究大会の開催経費、あるいは内閣府への届出等一般財団法人法に従った会計、諸種届出のための会計事務所及び弁護士事務所との契約等に要する費用など新たな支出増があり、この点での長期的対応が必要であるが、他方、単年度としては、国際法外交雑誌等の編集・刊行費の節減や会計及び各委員会における経費節減の努力などによって 2013 年度は僅かであるが資産増となった。

平成 26 年度事業計画の主なものと補正予算をご報告します。

#### 定款第 4 条 1 号関係

- ①研究振興委員会：現在ポータルサイトの立ち上げと主要文献目録の電子化検討中
- ②エキスパートコメント委員会：第 2 回以降のコメント作成に向けて準備中

#### 第 2 号関係

- ①日、米、加、豪・NZ 国際法 4 学会の第 5 回国際シンポジウムを Experts, Networks, and International Law, のテーマで Australian National University で 1-2 July 2014 開催。岩澤国際交流担当理事を団長に 4 名の報告者が参加して積極的に貢献した。
- ②8 月 29 日（金）及び 31 日（日）の日本弁護士連合会主題の「国際分野で活躍する法律家を目指すためのキャリアセミナー」への後援、10 月開催予定の I B A 東京大会の後援のほか、最終日（10 月 24 日）の「法の支配」セッションに協力

#### 第 3 号関係

- ①国際法外交雑誌 113 巻 1-4 号を刊行（内 2 号までを第 1 期委員会が編集）。
- ②小田レクチャーシリーズの開始

#### 第 4 号関係

2014 年度研究大会 既に HP 上に暫定プログラム内容を掲示

#### 第 5 号関係

- ①第 2 回小田滋賞の募集開始
- ②アジアカップ模擬裁判、2014 年 8 月 19 日・20 日実施の予定で現在進行中。外務省と協力して実施。
- ③ジェサップ模擬裁判への協力。

#### その他

学会名簿を研究大会の際に配布する。電子メールによる情報送付の開始に向けて検討。  
学協会サポートセンターとの契約更新

2014 年 7 月

前代表理事 薬師寺公夫